

節分会や酒蔵を見学

奈良県代協新春セミナー

奈良県代協(平尾武士会長)は2月3日、新春



元興寺前での集合写真

セミナーを開き約40名が参加した。今回はユネスコ世界遺産「古都奈良の文化財」の一つに登録されている元興寺の節分会柴燈大護摩供(さいとうおごごまく)と豆まきの見学・参加、「春鹿」醸造元、今西清兵衛商店の酒蔵見学を行った。(いずれも奈良市内)
奈良市内にある奈良町センターに午後0時30分

に集合、同45分出発、午後1時前に元興寺に到着。集合写真を撮ったあと、境内へ。当日は境内で節分会が午後1時から開かれ、願いを書いた護摩木を投入して焼き尽くす柴燈大護摩供などを見学。燃え尽きた灰の上に枕木を置き、火渡り修行が行われ、セミナーの参加者全員が裸足になり枕木の上を祈願しながら渡った。午後3時から外国人を含む年



火渡り修行を体験

男・年女が豆まき、豆袋とボールが境内の舞台から参加者へ投げ込まれ、同代協の会員の中には豆袋やボールをいくつも受けた人もいた。
このあと、日本酒「春鹿」の醸造元(今西清兵衛商店)で酒蔵見学。ほとんどがコンピュータ管理されている工場内を約1時間回ったあと、試飲会となった。見学終了後、奈良市内で新年会が催された。



酒蔵見学